

# すぐに役立つ！ 雑がみ 分別のコツ



ごみ箱の近くに、いらない紙袋を「雑がみ袋」として置いてみませんか？  
たったこれだけで、ごみ箱に捨ててしまいがちな小さな紙切れやメモ、お菓子の紙などのリサイクルがぐんと進みます！

## 簡単！ 便利！ 雑がみ袋を活用しましょう♪



雑がみ袋がいっぱいになったら、雑誌などとまとめてひもで縛り、紙・布類の収集日に出しましょう！  
自然と分別の意識も身に付くこの工夫。お子さんと一緒にリサイクルに取り組む際にもおススメです。

雑がみ袋は、いらない紙で簡単に作ることもできます。  
作り方は、ホームページをご覧ください。

ホームページはこちら



紙・布類は、地区ごとに定められた収集日に、ごみ集積所に出してください。

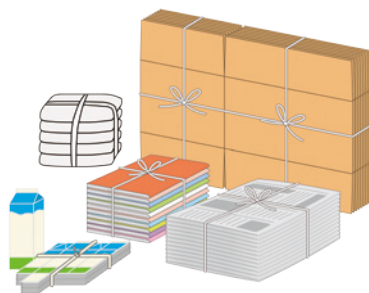


A地区	第1・3水曜日
B地区・D地区	第2・4水曜日
C地区	第2・4月曜日

## 紙・布類の収集日は月に2回

集積所に出す際には、次の5つに分けて、ひもで十文字に縛りましょう。

- ① 雑がみ
- ② 新聞紙(広告も可)
- ③ 布類
- ④ ダンボール
- ⑤ 紙パック



## リサイクルできない紙に注意！！

防水加工された紙コップ、ビニールやワックスでコーティングされた紙、かばんや靴の詰め物の紙などは、リサイクルできません。また、臭いや汚れのついてしまった紙も、リサイクルには向きません。  
これらをしっかりと取り除くことで、質の良いリサイクルが実現されます！  
分別表は、ホームページをご覧ください。

### 編集後記

SDGsという大きな国際目標を考えるきっかけに、気軽にスタートできる雑がみのリサイクルをご紹介しました。その取組は小さくても、必ず地球の未来に役立っています。改めて、リサイクルは、一人ひとりができる事から取り組むことが大切だと学びました。ごみ箱に捨てるその前に、もう一度確認してみましょう。その「紙」、本当に「ごみ」ですか？  
ご意見・ご感想は秘書広報課広報広聴担当へ  
✉10200001@city.tsurugashima.lg.jp

